

登録コード	UAC64500	開講年度	2026			
授業題目	社会学研究IV					担当教員 渡邊 綾
						副担当
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				⇔	学校における知識の位置づけを多角的な側面から理解し、知識社会学・教育社会学の視点から相対化して独自の議論を展開することができる。
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				⇔	学校における知識・カリキュラムに関する知識社会学・教育社会学の知見を習得するとともに、現状の学校カリキュラムに関する実証的データを収集・分析することで、学校教育と社会との関連性を多角的に論じることができる。
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				⇔	教育と社会との関連性と、2つの領域間の問題・課題を精緻に捉える分析力を涵養することを通じて、経験的事実に基づいて教育政策のあり方を検討・提示できる力を身につける。
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				⇔	社会学、知識社会学、教育社会学などの総合的な知見を活かし、学校知識を経験的事実に基づいて俯瞰的に捉える力を身につける。
(2)授業の概要	本授業では、『「論理的思考」の社会的構築』（渡邊雅子，2021，岩波書店）『「論理的思考」の文化的基盤』（渡邊雅子，2023，岩波書店）の2つのテキストの輪読とディスカッションを通じて、教育社会学のなかでも、特に学校知識を社会構造との関連から捉え、その文化的な基盤を深く理解することを目指す。また、後半では2つのテキストの内容を、自身の視点から整理し、報告を行なうことを通じて、学校知識の文化的な基盤について独自の視点を育成する。					
(3)授業計画	第1回：イントロダクション・担当決め 【テキスト① 輪読とディスカッション】 第2回：論文の構造と論理の型 第3回：ディセルタションと哲学教育・文学教育 第4回：ディセルタションの歴史 第5回：小学校・中等教育で教えられる論理 第6回：歴史教育 第7回：市民性教育 第8回：フランス社会の〈論理〉の構築 【テキスト② 輪読とディスカッション】 第9回：論理と合理性、能力の文化的基盤 第10回：〈論理〉と〈合理性〉の起源と類型——教育のメタ機能 第11回：教育文化のモデル 第12回：経済原理・政治原理—アメリカ・フランス 第13回：法技術原理・社会原理—イラン・日本 第14回：四つの納得の構造 第15回：批判的検討・報告 定期試験なし ※授業内容・順番は変更する場合がある。					
(4)成績評価の方法	討論への参加と内容（30%）、積極的な議論への参加（30%）、担当会の発表内容における独自性（40%）から総合的に判断する。					
(5)成績評価の基準	テキストの内容理解、積極的な議論への参加、発表の3点から評価する。全ての点について十分な水準・成果に達していると判断された場合は『卓越している』と評価する。2つの点で特に優れていると判断された場合は『かなり上にある』、1つの点で特に優れていると判断された場合は『やや上にある』と評価し、総合的に一定の水準を満たしていると判断された場合は『その水準にある』と評価する。					
(6)事前事後学習の内容	授業参加に先立ち、必ず事前に十分にテキストを読み込み、内容の理解に努めること。					
(7)履修上の注意	毎回授業後に課題を提示し、課題提出をもって出席とする。 オンライン学習システムを通じて講義資料の配布を行うため、これらに対応したWebブラウザなどをインストールした端末及びインターネット環境が必要となる。 教科書の構成に沿って授業を進めるわけではなく、参照するために用いる。					
(8)質問、相談への対応	e-ALPSの授業サイトから質問・相談を行うことができる。 また、対面での質問・相談を希望する場合は、個別にメール（授業内で伝える）で連絡すること。					
【教科書】	渡邊雅子，2021，『「論理的思考」の社会的構築』岩波書店 渡邊雅子，2023，『「論理的思考」の文化的基盤』岩波書店					
【参考書】	参考文献は授業中に適宜紹介する。					